

山口情報芸術センター [YCAM] メディアレクチャー

## ダイアログ&コンサート「2050年から見る環境と芸術の未来」

出演：坂本龍一(音楽家) ゲスト：竹村真一(文化人類学者)、Sachiko M (音楽家)

2011年12月16日(金) 19:00開演 (30分前開場)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA ※インターネット中継あり (USTREAM)

音楽家、坂本龍一氏(YCAM10周年記念事業のアーティストックディレクター)が、YCAMに来館。未来・次世代へ向けたメッセージを、山口から世界へと発信します。

山口情報芸術センター [YCAM] では、音楽家、坂本龍一氏とゲストを交えた、ダイアログ(対談)とコンサートからなるイベント「2050年から見る環境と芸術の未来」を開催いたします。

本イベントは、社会や環境との関わり方を新たな視点から見つめ直し、芸術と文化の創造を実践するYCAMの10周年を見据え、記念事業におけるアーティストックディレクターを担う坂本氏から、未来・次世代に向けたメッセージを、世界へと発信するものです。

文化人類学者、竹村真一氏をゲストに迎えた対談では、「2050年から見た文明」を主題に、未来に向けた社会と環境について、長期的な視点から考えていきます。大きな社会変化に直面した私たちは、どのように環境と向き合い、何を残していくべきか——。人々が出会い、対話し、地域と世界を結び続ける情報芸術の発信拠点を目指すYCAMが、坂本龍一氏とともに新たな提案を発信します。また、Sachiko M (サチコ・エム)氏との初の共演となるコンサートでは、ピアノとサインウェイヴによる即興演奏を試みます。

なお、本イベントの様子は、インターネット中継にて、公開します。

ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター[YCAM] 広報担当：廣田  
TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216 e-mail:information@ycam.jp  
〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7 <http://www.ycam.jp/>  
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



### 第1部 ダイアログ

坂本龍一 × 竹村真一

### 第2部 コンサート

坂本龍一 × Sachiko M  
ピアノ サインウェイヴ

## 2050年を見据える長期的な視点から、未来の環境と芸術について考える。

これからの芸術や文化が、可能にすること——。

YCAM10周年に先立ち、坂本龍一氏とゲストが、

未来・次世代に向けたメッセージを、世界へと発信するイベントです。

2013年11月の山口情報芸術センター [YCAM] 10周年では、「アートとメディア」から生まれる多彩な感性の創造を、未来・次世代へのメッセージとして積極的に発信することを目指し、記念事業を開催します。

環境と文化の関わり方を、新たな視点で見つめ直し、YCAMの創造活動を都市の実践モデルへと醸成していく事業展開を目指し、このたびYCAM10周年記念事業のアーティスティックディレクターとして、音楽家の坂本龍一氏を迎えました。

### 坂本龍一 | Ryuichi Sakamoto

音楽家



1952年生まれ。1978年「千のナイフ」でデビュー、同年YMOに参加。YMO散開後、数々の映画音楽を手がけ、作曲家としてアカデミー賞を受賞するなど世界的な評価を得ながら、常に革新的なサウンドを追求している。1999年制作のオペラ「LIFE」以降、環境・平和・社会問題に言及することも多く、9・11同時多発テロをきっかけに、論考集「非戦」を監修。自然エネルギー利用促進を提唱するアーティスト団体「artists' power」を創始した。2006年には、六ヶ所村核燃料再処理施設稼働反対を表明し「stop-rokkasho.org」を開始。2007年、有限責任中間法人「more trees」の設立を発表し、温暖化防止についての啓蒙や植樹活動をおこなうなど活動は多岐にわたっている。また、2006年には、新たな音楽コミュニティの創出を目指し「commons」を設立。音楽活動の

現場における積極的な環境配慮への取り組みに対し、2009年には国連環境計画が世界環境デーの一環として実施するECHO Festivalで「Echo Award」を受賞。また、同年7月にはフランス共和国文化省より芸術文化勲章オフィシエを受勲する。2010年、文化庁より芸術選奨文部科学大臣賞を授与されるなど、活動全般において世界各国で高い評価を受けている。2011年、東日本大震災の被災地復興支援プロジェクトとして、「LIFE311 by more trees」「kizunaworld.org」「こどもの音楽再生基金」など様々な活動を続けている。1990年より米国、ニューヨーク州在住。

YCAMでは、2006年10月、ライブコンサート「insen」にてカールステン・ニコライとともに出演。翌年3月には高谷史郎との共同作品となるオーディオビジュアル・インスタレーション「LIFE - fluid, invisible, inaudible ...」を発表。以降、本作は東京、ヨーロッパに巡回している。

今回のイベント「2050年から見る環境と芸術の未来」では、「2050年から見た文明」をテーマに、坂本龍一氏と文化人類学者、竹村真一氏たけむら しんいちによるダイアログ(対談)と、初共演となるサインウェイヴ奏者、Sachiko M (サチコ・エム)とのコンサートを開催します。

圧倒的な速度で更新されていく情報化社会のなかで、私たちは、未来をどのように想像し、環境とどのように向き合っていくべきか——。2011年3月の東日本大震災、原発事故によって私たちが直面した、環境と芸術の関係性という切実な課題について、本イベントでは、長期的な視点の重要性を踏まえて考えていきます。

さらに、2050年に向けて、現在のわたしたちが創造するもの、芸術や文化ができること、残すべきものについて、坂本氏の提言とゲストとのダイアログを、インターネット中継によってYCAMから世界へと発信します。



オーディオビジュアル・インスタレーション  
「LIFE - fluid, invisible, inaudible ...」  
(2006, YCAM委嘱作品)

## ゲストプロフィール

## 第1部 ダイアログ ゲスト

## 竹村真一 | Shinichi Takemura

文化人類学者

1959年生まれ。京都造形芸術大学教授。Earth Literacy Program代表。東京大学大学院文化人類学博士課程修了。地球時代の新たな「人間学」を提起しつつ、地球環境問題への独自の取り組みを進める。Sensorium (1997年アルス・エレクトロニカでグランプリ受賞)、「触れる地球」(2005年グッドデザイン賞・金賞)や「100万人のキャンドルナイト」、ユビキタス携帯ナビ「どこでも博物館」(2005年国連情報社会サミット日本最優秀賞)などを企画・制作。東日本大震災後、政府の「復興構想会議」検討部会専門委員に就任。Jwaveのナビゲーターとしても、月曜～金曜夜9時35分～の「Global Sensor」で地球環境への新たな視点を提示している。著書に「地球の目線」(PHP新書)、「Water」,「宇宙樹」,「22世紀のグランドデザイン」(慶応大学出版会)、「地球大学講義録」(日経新聞社)など。



<http://www.elp.or.jp/> (竹村真一プロジェクトサイト)

<http://www.tangible-earth.com/en/> (「触れる地球」デモサイト)

## 第2部 コンサート ゲスト

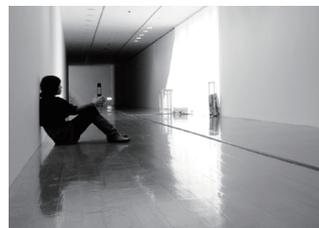
## Sachiko M | サチコ・エム

音楽家/サインウェイヴ

サンプラーに内蔵されているテストトーン用のサインウェイヴと、スイッチノイズを用いた極端なまでにシンプルでミニマリスティックなサウンド、潔いまでに徹底した音楽に対する姿勢で世界的な注目を集める孤高の即興演奏家。

1994年からカットアップとブレンダーフォニック(剽窃的サンプリング)の中核を担うサンプラー奏者として活躍。1998年にスタイルを一変させ、独自のサンプラー奏法を開始。2000年には、サインウェイヴだけを使ったソロ「SineWave Solo」が、イギリスの「Wire」誌やヨーロッパのフェスティバル等から注目を集める。以降、大友良英との電子音楽の実験場「Filament」を中心に、大友良英、一楽儀光とのエレクトロニクストリオ「I.S.O.」、中村としまるとのデュオ、吉田アミとのデュオ「Cosmos」等で活動。ソロライブシリーズ「Bar さちこ」や、インスタレーション「I'm here」など、ソロを追求させた作品/企画を継続して展開している。

photo: Miki Nakamura



## 開催概要

山口情報芸術センター [YCAM] メディアレクチャー

## ダイアログ&amp;コンサート「2050年から見る環境と芸術の未来」

出演: 坂本龍一(音楽家)

第1部 ダイアログ ゲスト: 竹村真一(文化人類学者)

第2部 コンサート ゲスト: Sachiko M (音楽家/サインウェイヴ)

2011年12月16日(金) 19:00開演 (30分前開場)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

※インターネット中継あり (USTREAM)

主催: 公益財団法人山口市文化振興財団

後援: 山口市、山口市教育委員会

協力: Kab America Inc.、Kab Inc.、ヤマハ株式会社

企画制作: 山口情報芸術センター [YCAM]

## チケット情報

※チケット発売日: any会員先行予約 11月12日(土)

一般発売 11月19日(土)

料金: [全席自由(先着順整理番号付)]

前売 一般 2,500円 / any会員・特別割引 2,000円 / 25歳以下 1,800円

当日 3,000円 ※当日は各種割引対象外

電話/窓口:

山口市文化振興財団チケットインフォメーション (YCAM内)

083-920-6111 (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

インターネット:

<http://www.ycfcp.or.jp/> (24時間受付 ※要事前登録)

■特別割引: シニア (65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。

■未就学児入場不可。

■託児サービス

対象: 0才(6ヶ月)以上

託児時間: 開演の30分前から終演30分後まで

料金: お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円  
申込方法: 12月9日(金)までにチケットインフォメーションまでお申し込みください。

■車椅子席・補聴システム: 事前にお問い合わせください。